早稲田大学環境総合研究センター・ふくしま広野未来創造リサーチセンター
第18回運営会議
議事録

日時：2020年12月4日 18:00~19:30
方法：Zoom 会議
記録：朱 鉦

出席者(敬称略)

松岡俊二	早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター長
	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授
小松和真	早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・副センター長
	福島県広野町復興企画課・課長
小野田弘士	早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・副センター長
	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・教授
遠藤 智	福島県広野町長
大和田徹	福島県広野町復興企画課・主任主査
阿部加奈子	福島県広野町こども家庭課・主任主査
吉田恵美子	ザ・ピープル&いわきおてんと SUN 企業組合・理事長
磯辺吉彦	NPO 法人・広野わいわいプロジェクト・事務局長
南郷市兵	福島県立ふたば未来学園高等学校・副校長
菅波香織	弁護士、未来会議・事務局長
安部 良	安部良アトリエ一級建築士事務所主宰
阪本真由美	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・教授
勝田正文	早稲田大学レジリエンス研究所・顧問
師岡慎一	早稲田大学レジリエンス研究所・顧問
友成真一	早稲田大学環境・エネルギー研究科・教授
永井祐二	早稲田大学環境総合研究センター・研究院准教授

オブザーバー

橋爪清成	ふたば未来学園高等学校
小磯匡大	ふたば未来学園高等学校
鈴木知洋	ふたば未来学園高等学校
山浦 崇	経済産業省・復興派遣員

事務局

李 洸昊	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・助教
中野健太郎	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・博士後期課程
CHOI Yunhee	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士後期課程
朱 鉦	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士後期課程

議題1 第7回ふくしま学(楽)会について

・第7回ふくしま学(楽)会は、2021年1月24日(日)にZoomで開催する予定である。テーマは継続

して「ふくしまから伝えたいこと、知らなければいけないこと」とし、サブテーマは復興の10年にあたることも考慮し、メッセージ性があるものにしたいと考えている。今後、皆さんと検討・議論を重ね適切なテーマを設定したい。

- ・プログラムは、午前にSI構想の第1の柱「1Fの事故遺産と記憶遺産の利活用」と第2の柱「地域の伝統・魅力発信事業」の活動報告を行い、午後は午前の議論を踏まえ、第3の柱の「国際芸術学術拠点の形成」を検討するという構成にしたい。各セッションでリサーチセンターや地域、ふたば未来学園の高校生の活動を報告すると同時に、世代・地域・分野を超えて議論することで、皆で共感し、何か新しいアイデアを生み出すことも期待したい。
- ・ふたば未来学園の高校生の発表については、探求プロジェクトの一貫性を考慮し、来年の夏のふくしま学（楽）会の時に高校3年になる、現在の高校2年生を中心に発表してもらうようにする。ただし、2年生の探求プロジェクトはまだ具体化されていないため、今回の高校生発表はミニパネルの話題提供として各セッションの最後に設定する。高校生発表者と発表内容は12月中に確定する。

【午前の部】

- ・SI構想の第1の柱について、大学の活動として1F廃炉の先研究会の活動と福島高専の研究活動を発表し、地域の活動は地域団体とふたば未来学園の高校生に報告してもらう。
- ・SI構想の第2の柱の活動として、地域伝統・魅力プロジェクトの全体報告や、地域で行っている交流拠点づくりの取組、リサーチセンターのA&S研究会関連で専門家の知見を報告してもらう。高校生の発表は、伝統の田植え踊りと絵本づくりのプロジェクトが進行中であり、ふくしま学（楽）会で報告してもらえると良い。

【午後の部】

- ・SI構想の第3の柱は、国際芸術学術拠点の形成について、「浜通りにおける社会イノベーションを誘発する拠点とは」というトピックでA&S研究会の活動を中心に討論する。特に、A&S研究会シンポジウムの内容と重ならないように、ディスカッションは拠点の将来的な価値に重点を置きたい。
- ・まとめの部分は、グループディスカッションと総合討論を行う予定である。グループディスカッションはSI構想の3つの柱に合わせ、1F廃炉の地域資源化、博物館・ミュージアム構想、国際教育研究拠点という3つのテーマ、さらに震災復興の10周年を念頭に、世代間における震災の記憶の継承も含めたテーマの設定を検討する。

議題2 1F廃炉の先研究会、地域対話会合について

地域住民、東京電力と経産省、1F廃炉の先研究会という3者が参加する、1F廃炉プロセスの地域資源化に関する地域対話会合（3者会合）は2回開催した（10月29日、11月26日）。第3回は12月17日に、第4回は来年1月に実施する予定である。

議題3 国際芸術・学術拠点構想研究会(A&S研究会)について

- ・これまで10回のA&S研究会を開催した。次回の研究会は来年1月に行う。
- ・12月22日に、研究会主催のシンポジウム「福島復興に必要な国際教育研究拠点とは何か？」をZoomウェビナーで開催する予定である。

議題4 地域の伝統・魅力発信事業について

地域伝統・魅力発信事業プロジェクトは、現在、地元団体と連携しながら、地域交流・文化発信拠点

づくりの取組が進められている。今後、近隣地域で活動しているほかの団体などからの新しいメンバーと連携しながら、拠点づくりの取組を広げていきたい。なお、大学生と高校生との連携も検討中であり、地元の若い世代との協力の展開も期待できる。

議題 5 今後の予定、その他

今年の12月24日頃に、第7回ふくしま学（楽）会のプログラムの暫定版を確定する。

以上